

第7回通常理事会 議事報告

会長 鷺見八重子

暖冬かと思っていましたら急に気温が下がり、東京にも霜が降りました。本部事務所入口には小さなクリスマスツリーに豆電球が灯り、街は美しいイルミネーションに彩られています。12月1日(土)には内閣府・国連ウィメン日本協会等との共催シンポジウム「自分を受け入れ自分を認め、一歩踏み出す——「キキ」の魅力と「自己肯定感」——」が津田塾大学千駄ヶ谷キャンパスにて行われ、国際アンデルセン賞受賞作家「魔女の宅急便」の角野栄子氏による基調講演「キキの物語」と、鼎談「自己肯定感をはぐくむには」(海原純子医学博士、坂東眞理子昭和女子大学理事長・総長、松本晃ライザップ代表取締役)に20数名の会員が参加し(256名参加)、これにて2018年内の大きな事業はすべて成功裡に終了しました。ご協力ありがとうございました。

よいクリスマスと新年をお迎えになられますよう祈りつつ、第7回通常理事会の議事報告をお届けいたします。

日時：2018年12月8日(土) 13:30~16:30 場所：本部会議室

審議事項

1. 2018年度JAUW公開シンポジウム報告書および会計について(加納企画委員長・中村会計理事)

シンポジウム会計中間報告がなされた。皆さまの参加、協力を得て予算通り推移している。報告書は60ページほどになる予定。A4判、2段組み、梅田HP担当委員が版下を作成中。印刷を白黒にするか、カラーにするかについては見積もりと予算を勘案して決める。アンケートのまとめを分担し掲載する。編集チーム(加納委員長、江原、端本、梅田、嶋田、鷺見)を編成する。懇親会の収支決算は、56名の参加を得、担当委員の工夫により黒字となった。

2. 秋田支部訪問について(森川支部担当理事)

11月29日(木)理事会から鷺見、縄田、中山、伴、森川の5名が秋田支部を訪問。橋本澄子秋田支部長他2名の支部会員と親睦を深め、現状についてうかがい、今後に向けてできることを話し合いました。支部のみなさま、本部からの講師派遣やスカイプによる交流など体制を整えつつありますので、ご要望、ご意見をお待ちしております。

3. 2019年度京都定時会員総会について(牧島、市川、森川、伴)

5月22日(水)会員総会(午後の部)に支部シンポジウムを予定しています。そのための資料として支部アンケートを行う予定です。各支部のご協力をお願いいたします。

4. G W I ジュネーブ100周年記念大会について(鈴木CIR理事)

2019年度年会費：407名分、一人25フラン(但し、過払い分1人3フランを差し引き22フラン)を、一月中に支払うことを確認。約100万円の予定。

★スイス旅行については、新春のつどいで申込み(相談)をいたします。会報をよくご覧になり、お誘い合わせてご参加ください。総会申し込みは、各自ウェブにて早めに行うようお勧めします。

5. 会員異動(牧島総務担当副会長)

入会者1名(神戸支部)。現会員数787名。賛助会員1名(合計35名)。退会者4名(京都支部)

6. その他

1) 役員選考委員会から：委員長西村寿美子(神奈川支部)、副委員長長田満江(茨城支部)、書記遠藤理枝(正・東京支部) 鷺崎千春(副・東京支部)がとめられます。

2) 新春のつどい(第1部 国内奨学金贈呈式 第2部 会食・懇談)2019年1月12日(土)京王プラザホテル4F 扇の間、奨学生9名が出席されます。みなさまのご参加をお待ちしております。

3) 創立70周年記念募金：6,511,500円になりました。ご支援をありがとうございます。

以上